

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2003-176446(P2003-176446A)

【公開日】平成15年6月24日(2003.6.24)

【出願番号】特願2002-258177(P2002-258177)

【国際特許分類第7版】

C 0 9 D 161/00

B 3 2 B 27/42

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 133/26

C 0 9 D 161/06

C 0 9 D 161/24

C 0 9 D 161/28

C 0 9 D 177/00

C 0 9 D 189/00

【F I】

C 0 9 D 161/00

B 3 2 B 27/42 1 0 1

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 133/26

C 0 9 D 161/06

C 0 9 D 161/24

C 0 9 D 161/28

C 0 9 D 177/00

C 0 9 D 189/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 コーティングを作製するための方法であって、以下：

ホルムアルデヒド樹脂を提供する工程；

ホルムアルデヒドスカベンジャーを提供する工程であって、該ホルムアルデヒドスカベンジャーはポリアミドである、工程；ならびに

該樹脂およびスカベンジャーを混合する工程、

該樹脂およびスカベンジャーを、約450°F～約650°Fの範囲の温度で加熱する工程、

を包含する、方法。

【請求項2】 前記ポリアミドが合成ポリアミドである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】 前記合成ポリアミドが、ポリアクリルアミド、ポリメタクリルアミド、ポリアミドテロマー、ポリアミドコポリマー、ポリアミドターポリマー、ポリアミドテトラポリマー、N-置換ポリアミドおよびこれらの組み合わせから本質的になる群より選択される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】 前記ポリアミドがタンパク質である、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】 前記タンパク質が、カゼイン、ダイズタンパク質およびこれらの組み合わせからなる群より選択される、請求項2に記載の方法。

【請求項 6】 前記ホルムアルデヒド樹脂が、メラミン・ホルムアルデヒド、尿素・ホルムアルデヒド、フェノール・ホルムアルデヒドおよびこれらの組み合わせからなる群より選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項 7】 触媒、充填剤、界面活性剤、緩衝剤、粘度制御剤、顔料、平滑矯正剤およびこれらの組み合わせからなる群より選択される成分を添加する工程をさらに包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】 前記触媒が酸触媒を含む、請求項6に記載の方法。

【請求項 9】 前記コーティングが、前記ホルムアルデヒド樹脂の乾燥重量に基づいて約3重量%～約50重量%の量のホルムアルデヒドスカベンジャーを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 10】 パネルをコーティングする方法であって、以下：

外装面および裏面を有するパネルを提供する工程；ならびに

ホルムアルデヒド樹脂およびホルムアルデヒドスカベンジャーを含有するコーティングを、該裏面に塗布する工程であって、該ホルムアルデヒドスカベンジャーは、ポリアミドである、工程。

該樹脂およびスカベンジャーを、約450°F～約650°Fの範囲の温度で加熱する工程、

を包含する、方法。

【請求項 11】 前記コーティングが、ローラー塗布、スプレー、カーテンコーティング、押し出し、ナイフコーティングおよびこれらの組み合わせからなる群より選択される方法によって塗布される、請求項10に記載の方法。

【請求項 12】 前記合成ポリアミドが、ポリアクリルアミド、ポリメタクリルアミド、ポリアミドテロマー、ポリアミドコポリマー、ポリアミドターポリマー、ポリアミドテトラポリマー、N-置換ポリアミドおよびこれらの組み合わせから本質的になる群より選択される、請求項10に記載の方法。

【請求項 13】 前記ポリアミドがタンパク質である、請求項10に記載の方法。

【請求項 14】 前記タンパク質が、カゼイン、ダイズタンパク質およびこれらの組み合わせからなる群より選択される、請求項13に記載の方法。

【請求項 15】 前記ホルムアルデヒド樹脂が、メラミン・ホルムアルデヒド、尿素・ホルムアルデヒド、フェノール・ホルムアルデヒドおよびこれらの組み合わせからなる群より選択される、請求項10に記載の方法。

【請求項 16】 触媒、充填剤、界面活性剤、緩衝剤、粘度制御剤、顔料、平滑矯正剤およびこれらの組み合わせからなる群より選択される成分を前記コーティングに添加する工程をさらに包含する、請求項10に記載の方法。

【請求項 17】 前記コーティングに酸触媒を添加する工程をさらに包含する、請求項15に記載の方法。

【請求項 18】 前記コーティングは、前記ホルムアルデヒド樹脂の乾燥重量に基づいて約3重量%～約50重量%の量のホルムアルデヒドスカベンジャーを含む、請求項10に記載の方法。

【請求項 19】 前記パネルが音響パネルである、請求項10に記載の方法。